

順あゝん飽海郡尾月のち新別当附の社
ふふ奥物を献ぜざるものとして玉代遮る出
事多あり役人亦又同意に奥州塩釜神社
は別当五社新奥物を献じ当社は又別当
あり新奥物を献じ神は奥物を献じ事
古今の定例にけり事先年奉禮を引て大社
考に奉侍れば略々羽澤記曰山取の因吉
次まとして羽澤多海月山を勧誘しなりて
言上三郡の氏神と崇まりし社なりと
云々下畧又曰羽澤ふのかむなれを由緒

良抄全帳と家形とありお供よいつりこと
く当社の旧号吉事宮之令高伝言当社は
造の事有より古人撰て吉次まとい今
又吉次り盡社おといふ人あり歎く敬事之
新光物語よ吉次伝ふり勧誘のまと言ふ
ふい新造しし事をも誤りて書侍ると見
へし羽澤記は当社は羽澤を言流て彼
山の分ちなり云々大なる誤にけり記の
伝書は善沃のち新なるれば我山を依怙を
ふんより根よ虫加へなりし海月